

オホーツク水圏環境学特論（一）（2単位）

担当者氏名 塩本 明弘

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

オホーツク海が、多様性に富み、生物量の豊富なオホーツク海特有の生態系を支え、世界有数の漁場を作り出していることを理解させ、温暖化等の環境変化がオホーツク海の生態系や水産業にどのような影響を及ぼすのかを考えることのできる能力を養わせる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

オホーツク海 水圏環境 生態系 生物生産
環境変化 水産業

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	講義の目標と進行、オホーツク海の概要	◎シラバスを熟読し、どのような講義が行われるかを事前に理解しておくことが必要である。そのためにも、学部の授業（水圏環境学）などで配布された資料や授業中にとったノートを読み返しておくこと。また、講義中には積極的に質問をすることに心がけること。加えて、講義中に配布された資料を基に復習し、疑問などが生じた場合には、次の講義において質問をすること。
2～3	オホーツク海の物理的・化学的環境	オホーツク海における流れ、水塊、栄養塩などの特徴	
4～5	オホーツク海の物理的・化学的環境の短期変動	オホーツク海における流れ、水塊、栄養塩など季節変動	
6～7	オホーツク海の物理的・化学的環境の長期変動	オホーツク海の気候、海流、海氷などの数十年にわたる変動	
8～9	オホーツク海の基礎生産の特徴	オホーツク海におけるクロロフィルaと基礎生産力の空間分布	
10～12	オホーツク海の基礎生産の変動	オホーツク海におけるクロロフィルaと基礎生産力の季節変動と年変動	
13～14	オホーツク海と生物生産	オホーツク海の海水が生物生産に及ぼす影響	
15	オホーツク海と温暖化	サケと流氷、サケと温暖化	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜、資料などを配布する

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

授業中に紹介する

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

出席、レポートで評価する

◆オフィスアワー

随時

◆その他受講上の注意事項

◎予習、復習を怠らないこと。講義においては、積極的に質問をすること